

地質調査技士に合格して

奥山ボーリング(株) 高堂 陶子



地質調査技士は私が入社して以降初めて取得した土木系の資格であり、個人的にとっても思い出深い資格です。とはいえ受験理由は「受験資格を満たしたから」という消極的なものでした。ですが、地質調査技士は国交省の地質調査業務の競争参加時に加点对象となる資格であることや、発注者によっては資格保有者が担当することが入札参加要件とされていたり、主任技術者の資格要件に加えられていたりするのを後から知り、最終的には「頑張ろう」という積極的な動機を持って受験しました。

受験対策として一番効果的と感じたのは事前講習会です。魅力として①参加すれば採点時加点されること、②講習会テキストが入手できること、③受験に関する有益な情報を得られることが挙げられます。例えば②に関して、講習会の授業はテキストを中心に進められますが、講師の方がこれを更に噛み砕いて頻出事項や最近の傾向を紹介してくださいます。私は講師の方が「出

る」と言ったところ全てに付箋をはり、その分野を中心に勉強しました。また③に関しては「次年度から試験形式が変更になる」という情報を教えて頂きました。

勉強方法は人それぞれやり方があると思いますのでここでは紹介を割愛させていただきますが、個人的に一番おすすめの息抜き方法はEテレで放送されている「テストの花道」のウェブサイトを読覧することです。このサイトには受験勉強のヒントが多数掲載されており、読むたび受験生のときの気持ちを思い出し、やる気の向上につながりました。

来年度から試験制度が変更になるようですが、私見を述べますと、今までの勉強が全く活かされないような問題は出ないのではないかと思います。再受験の方も初めての方も、自身の成長につながると思いますので受験をおすすめいたします。